

切花・鉢花の1月の見通し

切花(愛知名港花き地方卸売市場 1月5日現在)

単位:千本、円/本

品目	区分 実績等	前年及び本年の入荷量・価格の動き		
		入荷量	卸売価格	
輪 ぎ く	2021年	1,222	33	
	2022年	1,111	55	
	2023年	1,324	53	
	2024年	1,042	53	
	2025年	1,026	76	
	5ヵ年平均	1,145	53	
	2026年見通し	1,050	60	
概要	愛知中心の入荷となる。上旬は入荷量が少ないものの、中下旬は徐々に入荷が安定してくる見込み。業務需要の動きにより、上位等級を中心に価格は高く推移する見込み。			
小 ぎ く	2021年	542	32	
	2022年	641	27	
	2023年	528	42	
	2024年	509	31	
	2025年	282	45	
	5ヵ年平均	500	34	
	2026年見通し	300	45	
概要	沖縄中心の入荷となる。上旬は入荷量が少なく推移するものの、中旬以降は徐々に安定する見込み。ただし、全体的に数量は多くなく、出回り量も多くないため、価格は高めで推移することが見込まれる。			
カーネーション	2021年	735	35	
	2022年	764	50	
	2023年	788	59	
	2024年	841	40	
	2025年	855	60	
	5ヵ年平均	797	49	
	2026年見通し	800	55	
概要	愛知、輸入中心の入荷となる。輸入商材は引き続き円安の影響を受けており、国産は昨年並みであることから、入荷量はやや少なめとなる見込み。			
かすみそ	2021年	118	76	
	2022年	123	106	
	2023年	140	94	
	2024年	150	78	
	2025年	131	136	
	5ヵ年平均	132	98	
	2026年見通し	130	120	
概要	和歌山、高知、熊本からの入荷となる。前進気味の出荷物は、12月下旬に硬めの切前で無理な出荷が行われたため、上中旬は少なめの入荷となる見込み。			

単位：千本、円／本

品目	区分 実績等	入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き												
				前年及び本年の入荷量・価格の動き												
ゆり	実績	2021年 2022年 2023年 2024年 2025年	169 178 180 169 176	179 221 236 199 274												
	5ヵ年平均		174	222												
	2026年見通し		170	240												
	概要	オリエンタルユリは高知、宮崎、埼玉、愛知などから、鉄砲ユリは高知、鹿児島から、LAユリは埼玉、高知からの入荷となる。各種ユリは生産量の減少により、年明けは落ち着いた入荷となる見込み。														
洋らん	実績	2021年 2022年 2023年 2024年 2025年	274 263 243 257 278	78 110 138 104 167												
	5ヵ年平均		263	119												
	2026年見通し		270	150												
	概要	高知、徳島、愛知、静岡などの国産に加え、輸入品が入荷となる。オンシジウムは入荷が減少しているが、徐々に増加する見込み。デンファレは例年並みで、徐々に増加する見込み。シンビジウムは国内産に遅れがあり、多少増加する見込み。コチョウランは輸入は潤沢な状況にあるが、国内産は引き続き品薄となる見込み。カトレアは出荷遅れがあり、今後は徐々に増加する。														
ばら	実績	2021年 2022年 2023年 2024年 2025年	410 462 520 522 611	78 99 100 99 101												
	5ヵ年平均		505	96												
	2026年見通し		550	100												
	概要	愛知、岐阜、三重、輸入中心の入荷となる。例年並みの入荷となる見込み。上旬は成人式需要により、染めバラの注文が一般化してきている。														
枝もの	実績	2021年 2022年 2023年 2024年 2025年	812 1,110 921 907 1,002	51 54 66 56 65												
	5ヵ年平均		950	59												
	2026年見通し		950	60												
	概要	例年どおり、コデマリ、桃、レンギョウ、山州などの出荷が徐々に始まる。春節は2月17日であることから、20日頃から旧正月向け輸出が増加する一方、国内の動きは月末に向けて鈍化する見込み。														

品目	区分 実績等	入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
				数量 千鉢	単価 円/鉢
エリカ	実績	2021年 9, 488	176		
		2022年 7, 672	248		
		2023年 5, 862	283		
		2024年 5, 980	300		
		2025年 5, 621	237		
	5カ年平均	6, 925	241		
	2026年見通し	5, 300	220		
力	概要	入荷量は、前年同様に猛暑の影響によりロスが多く、減少する見込み。鉢サイズは、3.5号～4号が中心であり、手頃な価格帯の引き合いが強まる見込み。全体市況は、年始の好相場がつく月初から、寒さが厳しくなる月末に向けて弱含みで推移する見込み。前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位山梨（45.3%）、2位愛知（18.4%）、3位新潟（16.0%）となっている。			
ブリムラ	実績	2021年 290, 753	104		
		2022年 357, 676	96		
		2023年 312, 376	99		
		2024年 273, 460	104		
		2025年 280, 009	120		
	5カ年平均	302, 855	104		
	2026年見通し	27, 000	110		
力	概要	入荷量は前年並かやや減少する見込み。出荷の中心は3～4号で、年内出荷の遅れから年明け直後は出荷量が増える可能性がある。一方、中旬以降に出荷予定の山上げしていない苗は猛暑の影響によりロスが多く、特にジュリアンは出荷量が減少する見込み。前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（33.2%）、2位埼玉（15.9%）、3位奈良（13.8%）となっている。			
チューリップ	実績	2021年 36, 800	208		
		2022年 39, 692	233		
		2023年 39, 242	196		
		2024年 30, 420	215		
		2025年 25, 427	186		
	5カ年平均	34, 316	209		
	2026年見通し	23, 000	180		
力	概要	入荷量は減少する見込み。球根代高騰もあり、前年同様1月は3号中心の芽出し出荷が主となり、その後は4号の出荷が増える見込み。球根代高騰で、注文単価は前年より多少上がる可能性はあるが、競売が厳しい予想の為、平均単価は前年より多少下がる見込み。今後は円安も重なり、球根代の高騰で生産量・出荷量が大幅に減少する見込み。前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（39.3%）、2位奈良（18.8%）、3位茨城（18.6%）となっている。			

単位：鉢、円／鉢

品目	区分 実績等	入荷量		卸売価格		前年及び本年の入荷量・価格の動き		
		年	数量 千鉢	年	単価 円/鉢	年	数量 千鉢	年
サイネリア	実績	2021年	34,967	286				
		2022年	38,213	290				
		2023年	27,909	296				
		2024年	19,659	340				
		2025年	21,260	331				
	5カ年平均		28,402	303				
	2026年見通し		21,000	333				
	概要	入荷量は4号、5号については前年よりやや減少する見込み。開花は品種や色により一部遅れが生じる可能性があるものの、全体としては順調な出荷となる見込み。愛知産に限れば生産はやや微増する見込み。前年に続き、6号等の需要は厳しい見込み。						
		前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉（53.6%）、2位愛知（13.5%）、3位奈良（10.4%）となっている。						
マーガレット	実績	2021年	30,759	217				
		2022年	39,139	240				
		2023年	33,688	257				
		2024年	27,994	261				
		2025年	26,885	312				
	5カ年平均		31,693	255				
	2026年見通し		26,000	315				
	概要	入荷量は前年よりやや減少する見込み。上旬は品揃え需要により、前半は中値での推移が見込まれる。3.5号～5号中心の入荷となるため、中盤以降は特に5号以上が厳しい取引が予想される。						
		前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（22.0%）、2位埼玉（16.7%）、3位栃木（14.8%）となっている。						
デンドロビウム	実績	2021年	13,085	617				
		2022年	11,882	709				
		2023年	8,881	687				
		2024年	7,581	649				
		2025年	8,197	711				
	5カ年平均		9,925	672				
	2026年見通し		8,500	700				
	概要	入荷量は前年より増加する見込み。年内出荷予定分の遅れが前半に多くなると見込まれるほか、小鉢ものを中心に引き合いが強くなる見込み。						
		前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（47.0%）、2位岡山（29.8%）、3位高知（9.8%）となっている。						